

# 工場見学に来ていただきました！

## —高松市立鬼無小学校 第4学年の皆様—



9月15日（金）、高松市立鬼無小学校 第4学年54名の皆様に工場見学に来ていただきました。環境学習の一環として、昨年からお出前授業と工場見学の2本立てで実施させていただいています。（※出前授業の様子は前号 No.14038 をご覧ください。）

国分寺工場、綾川工場、千疋工場の3工場をまわり、ビン・缶・ペットボトルと容器包装プラスチックが資源へと変わっていく一連の流れや、自動販売機を解体する様子等を見ていただきました。

時折、「くさい！」という声が聞こえてきましたが、ビン・缶・ペットボトルや容器包装プラスチックそのものにおいはほとんどありません。それでは、においはどこからやってきているのでしょうか？



そのにおいは、ビン・缶・ペットボトルの中の飲み残しと容器包装プラスチックに付着した食べ残しが腐敗したものが原因だと思われます。このように汚れてしまったビン・缶・ペットボトルや容器包装プラスチックはリサイクルすることができません。



見学中、「あれはどのくらいの重さですか？」や「（工場内に設置してある看板を指して）あれは何と書いているんですか？」と質問があったり、アルミ缶が原料の製品を興味深そうに見たりと、終始熱心に見学してくださいました。

鬼無小学校の皆さん、この度はありがとうございました。

無限にあるわけではない資源。

その資源を次の世代に残すためにも、

『決められた収集日に出すなど、ゴミの出し方のルールを守ること』

『中身を空にして洗ってキレイにしてから捨てること』が不可欠です。

